



VPR22-036
2022年11月15日(火)

2022年11月14日

「ID.」モデルの販売が 50 万台突破： フォルクスワーゲンは予定よりも 1 年早く販売目標を 達成

- フォルクスワーゲンは、部品の供給が厳しい状況にもかかわらず、車両の電動化を世界中で急速に推進
- 高水準なバックオーダーを維持：受注した 13 万 5,000 台（2021 年比 65%増）の車両は急ピッチで生産中
- 電動化ロードマップを加速：ヨーロッパにおける内燃エンジン搭載車の生産は 2033 年までに終了し、2026 年までに 10 車種の新しい電気自動車を導入予定

ウォルフスブルグ – フォルクスワーゲンは、車両ラインナップの電動化を順調に進めています。フォルクスワーゲンはゼロエミッションでソフトウェア主導のモビリティプロバイダーになるための「ACCELERATE」戦略を実行している中で、計画よりも 1 年早く、次の目標を達成しました。2020 年 10 月に最初の「ID.3(アイディ.3)」¹モデルがお客様に納車されて以来、部品の供給が続く厳しい状況にあるにもかかわらず、フォルクスワーゲンは世界中で「ID.(アイディ.)」ファミリーのモデルを 50 万台販売しました。



フォルクスワーゲンによる e-モビリティ 攻勢が成功裏に進行中

「50 万台の「ID.」モデルが販売されたことは、これらのフォルクスワーゲン モデルが世界中のお客様から好意的に受け止められていることを証明するものです。私たちは、e-モビリティ 攻勢で正しい道を行っており、そのサクセスストーリーは進行中

です。フォルクスワーゲンを持続可能なモビリティの中で、最も望まれるブランドにするという私たちの目標には変わりはありません。」と、フォルクスワーゲン セールスマーケティング・アフターセールス担当取締役のイメルダ ラベールは述べています。高水準にあるバックオーダーについて、ラベールは次のように説明しています。「私たちは、注文をいただいた約 13 万 5,000 台の「ID.」モデルを可能な限り早くお客様に納車するために最善を尽くしています。しかし、部品の供給に関しては厳しい状況が続いているため、生産調整を余儀なくされることが続いています。」

フォルクスワーゲンは、2033 年からヨーロッパで電気自動車のみを生産します。2030 年以降、電気自動車はヨーロッパにおけるフォルクスワーゲンの販売台数の少なくとも 70% を占めるようになるでしょう。米国と中国では、同期間に電気自動車のシェアを 50% 以上にすることを目標にしています。「ノルウェーは e-モビリティの先進国です。この国において、「ID.4」⁴ は 10 月に登録台数で 1 位になりました。この例は、「ID.」ファミリーの

Media contact
Volkswagen Communications
Nina Krake-Thiemann
Spokesperson Sales, Marketing &
After Sales
Tel: +49-5361-9-33854
nina.krake-thiemann@volkswagen.de

Dr. Christoph Ludewig
Head of Corporate Communications
Volkswagen brand
Tel: +49-5361-9-87575
christoph.ludewig@volkswagen.de



More at
volkswagen-newsroom.com

ACCELERATE
DIGITAL: ENERGIZED



Media Information

製品ポートフォリオが、お客様のニーズに合っていることを示しています」と、ラベールはコメントしています。

フォルクスワーゲンは、2026年までに10車種の新しい電気自動車モデルを導入する予定です。「フォルクスワーゲンは、自動車業界で最も幅広い電気自動車のポートフォリオを揃えることとなります。私たちは、目標価格が2万5,000ユーロ未満のエントリーレベルの電気自動車から、新しいフラッグシップの“Aero B (エアロ B)”に至るまで、すべてのセグメントに適切なモデルを提供します」と、ラベールは述べています。

お客様からのフィードバックを新しい車両機能に直接反映

「ID.」ファミリーは、ソフトウェアの統合とデジタルによる顧客体験の点でも先駆的なモデルです。フォルクスワーゲンは、「ID.」オーナーの方々に、OTA (Over The Air: 無線アップデート) 機能を継続的に提供しています。これにより、車両はライフサイクル全体にわたって最新の状態に維持され、新しい機能を利用できるように常に更新されます。「ここ数か月、お客様からの反応は非常にポジティブなものでした」と、ラベールは報告しています。「OTAの利点は、お客様からのフィードバックを、直接かつ迅速に車両の機能に反映できることです。その一例は、充電容量の増加や、ドライバー ディスプレイにおけるバッテリー容量の通知機能などです。」

MEB は e-モビリティ 攻勢の基盤

モジュラー エレクトリック ドライブ マトリックス (MEB) は、ブランドの「ACCELERATE」戦略の下で、世界的な e-モビリティ 攻勢を加速させるための決定的に重要な要素です。フォルクスワーゲンの電気駆動システム用に専用設計されたこの車両アーキテクチャーは、長い航続距離と広々とした室内空間を実現し、OTA ソフトウェア アップデート機能を搭載することが可能です。MEB は、完全に電動化され、完全にネットワーク化されたすべての「ID.」ファミリーの技術的基盤として機能します。

MEB はフル電動専用に開発されており、フォルクスワーゲン グループ全体の様々なセグメントの車両で使用できる能力を備えているため、巨大なスケールメリットを生み出し、e-モビリティのコストを削減し、カーボンニュートラルなモビリティへの移行を加速させています。また、MEB は「Design for Manufacturing (製造のための設計)」コンセプトにより、迅速かつ高効率の生産を可能としています。これにより、広範囲に及ぶスケールメリットが生成され、電気自動車の価格を下げて、数多くの人々により手頃な価格で提供できるようになります。

¹⁾ ID.3 - power consumption in kWh/100 km: combined 16.4-15.2; CO₂-emissions combined in g/km: 0.

²⁾ ID.5 GTX - power consumption in kWh/100 km: combined 19.3-16.9; CO₂-emissions combined in g/km: 0.

³⁾ ID.6 - This vehicle is not available to purchase in Europe. Only consumption and emission values according to WLTP and not according to NEDC are available for this vehicles.

⁴⁾ ID.4 Pro Performance - power consumption in kWh/100 km: combined 16.5; CO₂-emissions combined in g/km: 0.